

あらうま！

2008,4/ 西多摩ブロック

子どもたちとの出会いは！



進級進学・新年度が始まり、新たな思いで学級開きをスタートしました。新しい子どもたちとの出会い、持ち上がりで続いている始まり。子どもたちは一年ごと、着実に成長するものです。また、目の前の子どもたちは、あの子どものときとは、ちがいます。同じ学年だからと言って、同じことを！とはいかないものですね。毎年新たな子どもたちとの出会いや学び合いが生まれてきま

す。先生にとっても、一からの始まりですね。子どもたちを通して、目の前の近い目標、一年後の遠い目標を立てて、さあ、はじまり、はじまり！！

4 月例会の報告です・・・・・・！！

19 日（土）今回のテーマは「体育の年間指導計画」づくりでした。体育の授業で、子どもたちとどんなことを夢描いていますか？ということで、4 月学級開きでの子どもたちとの出会いを語りながら、学習のイメージを広げってみました。今回の参加者は、6 名。それぞれが、新学級の一ページに手応えを感じながら、始められたようです。

高学年、特に 6 年生は、小学校生活の 6 年間のまとめ、何ととっても最高学年としての課題があります。一年間、学校をリードしていく学年です。そして、卒業！という小学校での最後の授業があります。それをいかに位置づけ、子どもたちの大きな目標にさせられるのか！ 学年・学級目標を子どもたちの手にしっかりとつかませる。まずは、クラス目標づくりの取り組みがありました。それがこれから始まる一年間の道標となり、自分たちがたどるステップになっていくのです。その足跡が教室の壁を飾る。教室には、自分たちの歩んできた姿が見えてくるもの！子どもたちはいつもそれを確かめながら、今から次へと向かっていけるのかな～、そこが

大切なんですね。

なるほど・・・と思いながら、高学年の担任の想いが伝わってくるようでした。

また、高学年という思春期特有の難しさ。子どもから大人へと向かう節目。子どもたちは人とのかかわりを通して、「友達って、自分って何だ？」成長することで気づき始める不安な世界。自己肯定感、自己有用感という確かな思いや願いを求め始める。時に担任にとっては、とても厄介なものになってくる。でも、考えてみれば自分たちもかつて、同じ道を歩んできたはずなのですね。

子どもと向き合うことは、実は自分自身に向き合っていることなのですね。だから、私たちは子どもたちの姿を借りて、自分と向き合っているということなのです。子どもの成長は、私たち自身の成長でもあるのではないのかな～・・・なんて。

2年生からは、かわいい実践報告がありました。1年生の最後に行ったお話マツトの発表会ビデオ。1年生が自分たちで考えたお話をもとにグループごとに発表会をしたのです。司会の呼びかけで、6つのグループが順番に発表をしました。元気な声が重なり合って、子ども達が発表会をつくり上げていく。「1年生って、すごい～！」みんなでビデオに向かって拍手がわきました。参観してくれたお母さんたちのコメントも子どもたちを大いに励ます言葉でした。気持ち良さそうな笑顔が広がっていました。子どもたちが伸びるって、こういう場面をたくさん積み上げることなんでしょうね。バージョンアップした頑張りが、また 楽しくなりました。

年間計画のたたき台は、2年生の計画（渡辺）でした。まず、クラスの仲間としてのつながりが薄く、並ぶことにも手をやいてしまう子どもたちです。話が通りにくく、手遊びとちょっかい、集中が苦手です。指示もなかなか伝わらない。そこで、「楽しい！」を体で感じさせることを軸に、まずみんなで体験し、「楽しい！」を共有することから始めようと、他教科とも関連させながら、メモったものでした。まだ、内容が詰められたものではありません。2年生だけにパワーのある子どもたちです。このパワーを手掛かりに、「こんなこと、できる？」で試した心をくすぐりながら、迫ってみようと始めています。

1学期は、障害走（台の跳び越し走・リレー）、鉄棒（ブタの丸焼きのヒミツ）、跳び箱遊びにチャレンジです。ちょっと欲張っての取り組みで、運動会が心配です。

鉄棒の指導案（ながれ）は、次回の例会の課題になりました。低学年での実践がありましたら、次回は持ち寄ろうということになりました。

参加者の声・・・！

・新年度ということもあり、それぞれのスタート、意気込み(?)等をまず聞けて元気が出ました。

渡辺さんの「一人ひとりの成長、人として知恵と力」を核とし、どの教科でどんな力を身につけさせたのかをまとめて1つの図にして感動しました。私ももう一度そこをきちんと整理し、3年目の子ども達と楽しく過ごしたいと思います。

Cさん

・新年度が始まり、クラスの様子などについての意見交換ができ、気持ちが引き締まりました。また、前回までにたくさんこちらで教えていただいた「お話マット」の発表会のビデオを見て、ご意見をいただいてとてもありがたかったです。是非、2年生でバージョンUPできたらと思います。鉄棒もこれから学ばせていただきながらやっていきたいです。

Iさん

・今回、刺激を受けて元気が出ました。やりたいこと、やれそうなことを書きだしてみるとよく見えてくると思います。(できるだけそうしたいと思います。)

次のサークルの時は、子どもたちとこんなことをやった!ということ話を話せるといいなと思います。

低学年の時の実践は、高よりは少しあるので、次回持ってきてきたいと思います。

Oさん

・池田さんの1年生のお話マットのビデオを見せてもらいましたが、子どもたちが一生けん命にやっている様子がよくわかって、とてもほほえましくいい実践をやっているなと思いました。この西多摩ブロックで話し合ったことも生かされていたのではないかなと思い、それもうれしかったです。

渡辺さんの2年生の体育の年間計画を、どんなことを大切にしていって授業をしていくかという方針のもとに作っているのが素晴らしいと思いました。次回、鉄棒の指導計画をもとに話し合うのも楽しみです。

Iさん

・池田先生のVTR・・・1年生であれだけ(自分たちで会を進行し、グループで発表)出来てすごいなと思いました。

鉄棒・・・「ぶたのまるやき」に「ひきつけ」「ぶらさがり」「脱力」「スイング」というたくさんの要素が入っていることを初めて知りました。ジャングルジムや上り棒、うんていを使った技を面白いなと思いました。

リレー・・・バトンパスをうまくするための「鬼ごっこ」をやってみようと思いました。

Mさん

5月例会のお知らせです！

「低学年の鉄棒の指導計画案！！」

日時 5月17日(土) pm1:00～

会場 あきる野市屋城小学校



鉄棒って、苦手だな～という先生、いるんじゃないですか。まず、私がそうです。手は痛くなるし、ぶら下がっているのも、結構つらいものがありますね。しかも、ぶら下がって何をする？子どもたちはどうなのでしょう。

低学年の子どもたちとどんな鉄棒ができるのか。どんな楽しみ方があるのだろうか。そして、鉄棒で何を学ぶことができるのか。鉄棒教材について考えましょう。そして、一緒にぶら下がって体に聞いてみましょう。もしかすると、面白い

ことが見えてくるかも？

お待ちしております！